

令和5年度 夏の造形研修会<研修報告> 8月4日(金)

会場：名古屋市立豊岡小学校 主催：名古屋市造形教育研究会 後援：名古屋市教育会

第1部 模擬授業 【13:00～14:05】 研修会テーマ

参観される先生方に児童・生徒役になってもらい、授業に参加してもらいました。

『これからの図工・美術の授業づくり』

～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の追求～

○小学校低学年「わっかでへんしん」

授業者：佐橋早苗(滝ノ水小)・栗原好江(名東小)

「見つけた！こんな面白い形や色」と形や色に着目しながら、わっかにした色紙から、新たに思い付いた形や色を身に付け「わっかでへんしん！」。グループで活動することにより、「面白いね！」「めがねをかけてみたら？」などと、友達同士の関わりが必然的に生まれます。タブレットPCの活用や表現の場の工夫などの授業づくりのアイデアも満載です。



○小学校高学年「光の形」

授業者：鈴木さやか(正保小)・柿崎文史(守山中)

光の色や形そのものがもつ方向感、色の鮮やかさ、バランスなどの造形的な特徴を基に自分のイメージを持ちながら、表現する「光の形」。白い材料に当たった光の表情は、材料の厚みや切り方、ちぎり方によって様々です。偶然生まれた光と、意図的に構成した光の「感じ」の組合せの試しが体験できます。友達と「感じ方」や「形や色の工夫」を伝え確かめ合いながら、自分の形を見付けていく学習過程を紹介します。

